

令和7年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

資 料

令和7年5月23日（金）

リーセントカルチャーホテル

目 次

I 令和6年度の取組実績について

1	会議の開催	1
2	重点取組事業		
	(1) おかやま・もったいない運動の推進	2
	(2) 食品ロス削減の推進	4
	(3) プラスチック3Rの推進	6
	(4) 海ごみ対策	7
3	その他普及啓発事業等	9

II 令和7年度の取組（案）について

1	会議の開催	1 1
2	重点取組事業		
	(1) おかやま・もったいない運動の推進	1 2
	(2) 食品ロス削減の推進	1 3
	(3) プラスチック3Rの推進	1 3
	(4) 海ごみ対策	1 4
3	その他普及啓発事業等	1 5

I 令和6年度の取組実績について

1 会議の開催

令和6年度岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議に係る会議を次のとおり開催した。

(1) 本会議

- ア 日時 令和6年5月28日(火) 14時～16時
- イ 場所 サン・ピーチOKAYAMA
- ウ 出席者 委員16名、事務局
- エ 議題
 - ・令和5年度の取組実績について
 - ・令和6年度の取組(案)について

(2) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- ア 日時 令和6年10月28日(月) 9時30分～12時30分
- イ 場所 岡山県庁7階 環境文化部会議室
- ウ 出席者 審査員4名
(赤井委員、中里委員、久宗委員、環境学習プラザ「アスエコ」山田所長)

(3) ワーキング会議

- ア 日時 令和7年2月12日(水) 10時～12時(予定)
- イ 場所 ピュアリティまきび
- ウ 出席者 ワーキング委員9名、事務局
- エ 議題
 - ・令和6年度の取組実績について
 - ・令和7年度の取組(案)について
 - ・意見交換(食品ロス削減、プラスチック3Rの推進について)
 - ・その他

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3Rの推進や食品ロス削減についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を次のとおり推進した。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

○1日環境大学～真庭市の高原で学ぶ遊ぶ感じる～

- ・開催日時：令和6年5月26日（日）10時30分～15時
- ・場 所：津黒いきものふれあいの里ほか
- ・内 容：講演会、体験活動（園内散策）、食品ロス削減に関するパネル展示、缶バッジづくり等

○親子エコフェスタ2024

- ・開催期間：令和6年6月1日（土）～30日（日）
- ・場 所：アルネ津山及び周辺商店街
- ・内 容：美作県民局管内小学生の「地球にやさしい生活」環境絵馬の展示・表彰、食品ロス削減に関するパネル展示等

○井原市環境フェア

- ・開催日時：令和6年6月2日（日）9時～12時
- ・場 所：井原駅前広場、井原駅ビル
- ・内 容：エコクイズ、海ごみや食品ロス削減のパネル展示等

○やかげ環境フェア

- ・開催日時：令和6年8月3日（土）9時30分～14時30分
- ・場 所：矢掛町農村環境改善センター、矢掛町クリーンハウス
- ・内 容：ミニゲーム、海ごみや3R、食品ロス削減に関するパネル、岡山県エコ製品の展示等

○くらしき環境フェア

- ・開催日時：令和6年10月13日（日）9時～15時
- ・場 所：玉島市民交流センター、玉島文化センター
- ・内 容：エコクイズ、端材を使ったワークショップ、海ごみや3R、食品ロス削減に関するパネル展示等

○あかいわeco・いいものまるしえ×消防フェス！

- ・開催期間：令和6年11月10日（日）10時～14時
- ・場 所：赤磐市環境センター
- ・内 容：シーグラスを使った工作体験、海ごみパネル展示等

イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト

県内の小学生とその家族を対象に、夏休み期間を中心に家庭でできる「食品ロス削減」や「プラスチック・海ごみ削減」に向けた取組にチャレンジした報告を募集し、優秀なものを表彰した。

- ・応募数 23校、867点
- ・受賞者 個人の部（最優秀賞1名、優秀賞5名、努力賞10名）
団体の部（最優秀賞1校、優秀賞3校）

○表彰式（エコ活動絵日記・壁新聞コンクールと合同開催）

- ・日時 令和6年12月21日（土）11時～12時
- ・場所 イオンモール岡山 1階 西エスカレーター前
- ・参集者 受賞者、保護者等
- ・内容 表彰状授与、講評、記念撮影等

○作品展示会

受賞作品16点について、表彰式会場及び県内3か所で展示を行っている。

- ・倉敷会場
展示期間：令和7年1月14日（火）～1月23日（木）
展示場所：倉敷市リサイクル推進センター
- ・津山会場
展示期間：令和7年2月4日（火）～2月14日（金）
展示場所：津山圏域クリーンセンター リサイクルプラザ
- ・岡山会場
展示期間：令和7年2月17日（月）～2月28日（金）（予定）
展示場所：岡山県庁1階県民室

<表彰式の様子>



<展示会の様子>



<優秀作品の一部>



(2) 食品ロス削減の推進

日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は 472 万ト

ンもあるといわれている。（環境省・農林水産省「令和4年度推計」）このうち、食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量は236万トン、一般家庭から発生する家庭系食品ロス量も236万トンとなっている。

こうした状況を受け、県でも、食品ロスの削減を県民に広く呼びかけている。

ア 事業系食品ロス削減事業

食品関連事業者とフードバンクをつなぐ「おかやまフードトリップ」を運用し、マッチングを進めている。

- ・運用開始日：令和5年4月3日
- ・登録者：食品提供者25事業者、フードバンク23団体（令和7年3月末時点）
- ・マッチング実績：58件（令和7年3月末時点）

<受け渡しの様子>



イ 食品ロス削減月間キャンペーン

「おかやま食品ロス0大作戦」をテーマに、県民の食品ロス削減に係る意識の醸成と生活様式の習慣化を目的に、県民参加型キャンペーンを実施した。

①お店でアクション！てまえどりキャンペーン

期 間 10月1日（火）～10月31日（木）

参加店舗 県内のスーパーなど小売店 167店舗

内 容 ・キャンペーン参加店舗でキャンペーンシールの貼ってある商品を購入し、応募台紙にシールを貼って郵送すると、抽選で100名に県産里海米をプレゼント

応募数 1,165枚（4,344口）



②食品ロス削減WEBセミナー

モデレーター 川越一磨氏（（株）コークッキング 代表取締役CEO）

- ・事業者向けセミナー（参加者17名）

日 時 10月23日（水）14:00～15:30

講 師 平井巧氏（（株）honshoku 代表取締役社長）

登壇者 吉岡友紀子氏（（株）ダロワイヨジャポン 代表取締役社長）

内 容 食品ロス対策を企業の利益改善につなげた事例の紹介等

- ・一般向けセミナー（参加者22名）

日 時 10月26日（土）10:00～12:00

講 師 福田かずみ 氏（食品ロス削減アドバイザー、冷蔵庫収納家）
 登壇者 平井巧 氏（（株）honshoku 代表取締役社長）
 内 容 食品ロスを減らす冷蔵庫整理収納術や家庭で実践できるアクションの紹介等

<セミナーの様子>



③食品ロス削減アイデアキャンペーンの実施

期 間 10月1日（火）～11月10日（日）
 内 容 公式Instagramをフォローし、「てまえどり」「食べきり」「使いきり」など、食品ロスを減らす取組やアイデアを投稿すると、抽選で食品ロス削減につながる賞品をプレゼント
 投稿数 140件

ウ 地域で食品ロス削減の輪を広げよう！モデル事業

若い世代の食品ロス削減意識の醸成のため、くらしき作陽大学の大学生6名がフィールドワークで調査した地域の食材等の生産過程や食べきる工夫などを分かりやすく教材にまとめ、小学生に対し出前授業を行った。

・出前授業の内容

食品ロスに関するクイズ、大学生による劇、生産者のインタビュー動画等を通じて、小学生が自分たちで実践できる食品ロス削減について考えた。

<出前授業の様子>



○倉敷市立中庄小学校

- ・実施日 令和7年1月27日（月）、1月31日（金）
- ・対 象 4年生（137名）、5年生（132名）

○総社市立総社北小学校

- ・実施日 令和7年2月5日（水）
- ・対 象 3～6年生（114名）

エ 食品ロス削減啓発動画、パンフレットの作成

県内で野菜や果物、乳製品などを作っている生産者の方々へのインタビューを交えながら、食品ロスの問題や食べ物の大切さを学び、食品ロスを減らすために家庭

の内外で取り組むことができる事例を紹介する小学校高学年をメインターゲットにした動画を制作し、県内市町村教育委員会等に紹介。岡山県公式YouTubeチャンネルで配信中

各家庭で食品ロスを減らすヒントの紹介や具体的なアクションを分かりやすく記載したパンフレット「岡山県食品ロス削減辞典（令和7年3月改訂版）」を作成し、配布した。

オ 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」との連携（事務局：福井県）

全国 47 都道府県 439 自治体（うち県内 9 自治体）が参加

県内参加自治体：岡山県、岡山市、倉敷市、玉野市、笠岡市、瀬戸内市、真庭市、里庄町、矢掛町

(3) プラスチック 3 R の推進

プラスチックは生活に欠かせない素材で、大量消費される一方、環境に与える影響が大きな問題となっている。県民及び排出事業者にプラスチック 3 R の情報提供を行い、廃プラスチック削減に向けた主体的な取組を促した。

ア 岡山プラチェン大作戦

テイクアウト容器、カトラリー、コップ等を、ワンウェイ（使い捨て）プラスチックから、紙や竹、バイオプラスチック等の代替製品への転換（チェンジ）を促すお試しキャンペーンを実施した。



- ・ 期 間：令和6年9月10日（火）～令和7年1月31日（金）
- ・ 内 容：県内の飲食店等を対象とし、カタログから使ってみたい製品を選び、サンプル使用後に、実際にお客様に提供していただくキャンペーン
- ・ 参加店舗：55 店舗

<お試し利用の一例>



イ おかやまプラスチック 3 R 宣言事業所

県内の事業所に、プラスチック製品の使用削減や、リユース、代替素材等の製品への切替え（例：従業員にマイボトル持参を促す、プラスチック製容器包装を減らす、材料を代替素材に変更する）など、プラスチック製品の 3 R を宣言し取り組んでもらった。

宣言を行った事業所には登録証を交付し、取組を行っていることをアピールできる資材（のぼり旗など）を配布するとともに、事業所名や取組内容を県ホームページで公開している。

また、事業所ごとの独自の取組事例を収集し、優れた取組内容については訪問・取材を行いホームページで紹介するほか、イベントでのパネル展示や宣言事業所へのメルマガ配信等を行い、取組が広がるように推進している。

・登録事業所数：1,593事業所（令和7年3月末時点）

（4）海ごみ対策

海ごみの発生抑制に向け、住民意識の醸成と実践行動を促進するため、普及啓発事業を実施したほか、「おかやま海ごみクリーンアップ宣言」に基づき、市町村や経済団体との役割分担と連携・協力により、海ごみ等の回収・処理と発生抑制体制の構築に向けて効果的な取組を検討。瀬戸内4県（広島県、岡山県、香川県、愛媛県）と日本財団が連携協定を締結し、共同で推進している包括的的海洋ごみ対策プロジェクト「瀬戸内オーシャンズX」においても海ごみ対策に取り組んだ。

ア 普及啓発

① 海ごみ・プラごみ削減フォーラムの開催

県内外で活動する団体や企業、学校などがそれぞれの取組を紹介するブース展示（30ブース程度）のほか、ゴミ拾いダイビングインストラクターによる講演、海ごみ・プラスチックごみ削減を題材とした漫才やマジックショーなどを行うフォーラムを開催した。

日 時：令和7年2月16日（日）13時～16時30分

場 所：コンベックス岡山 2階

国際会議場・バンケットホール

来場者数：約200人



② 海ごみ問題に関する教育冊子の作成

子どもたちの海ごみ問題への理解を促進することを目的に、小・中学生向けに海ごみ問題の現状や県内の活動団体の取組等について、イラストや写真を用いて分かりやすくまとめた冊子を作成し、学校等へ配布した。



イ 発生抑制対策

① 海ごみ削減キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」

令和6年4月から岡山県海ごみ対策推進協議会と連携し、河川や用水路等を通じて瀬戸内海へ流入する生活ごみ等を削減するため、県内各地で清掃活動等を行う、全県統一キャンペーンを展開。



参加者募集チラシ等に共通のロゴマークを使用するとともに、のぼり旗や横断幕を活用してPRを行った。

キャンペーン対象事業：63事業

海ごみ等の回収量：約18t（令和7年3月末時点）



② 漂着ごみ組成調査（県内27か所）

海ごみの発生抑制対策を効果的に実施するため、前年度と同じ地点で、漂着ごみの回収及び分類、計測、記録を行う回収・組成調査と、目視によるモニタリング調査を実施し、実態の把握を行った。

③ 岡山県海ごみ対策推進協議会（令和6年4月1日 岡山県海ごみ対策連絡調整会議から名称変更）の開催

全県で海ごみ対策を推進するため、岡山県海ごみ対策推進協議会を開催し、各構成員の取組について共有するとともに、おかもやまゴミ退治大作戦の推進や小中学生を対象とした海ごみ教育の実施についての方策等を協議した。（令和6年8月21日）

ウ 回収

① 河川ごみ等回収・発生抑制モデル地区推進事業

地域（町内会や学校等）と連携してごみ回収活動を行おうとする公民館に対して、専門家による伴走支援を行い、公民館を主体としたモデルの実現可能性を確認した。

（令和6年度：6館（岡山市、倉敷市、笠岡市、新見市））



② 河川ごみ等回収促進事業

個人や団体、企業等による河川等における清掃ボランティア活動が一層活発化するよう、市町村と連携して回収後の河川ごみ等を運搬、処分するとともに、回収を効率的に行うために、必要に応じて県管理地内の草刈りを実施

(i) 河川ごみ等の運搬、処分費用の負担

市町村等が河川等管理者や清掃ボランティアからの依頼に基づいて行う回収後の河川ごみ等の運搬、処分について、県管理エリアの内外にかかわらず県が負担

（令和6年度：18件）

※ 一定規模以上（450ゴミ袋で概ね50袋（令和7年1月以降30袋に条件緩和）以上回収見込み）の清掃活動に限る。



(ii) 事前準備としての草刈り（県管理地）

(i)の対象規模以上の清掃活動を行うにあたり、進入道路等部分的な草刈りを行う必要がある場合には、県が草刈りを実施（令和6年度：3件）

③ 河川ごみ等クリーンアップ事業

市町村が行う河川ごみ等の回収・処理及び発生抑制対策事業への補助
(令和6年度：11市町村)

④ 海ごみクリーンアップ事業

市町村が行う海ごみの回収・処理及び発生抑制対策事業への補助
(令和6年度：6市町村)

⑤ 海底ごみ回収モデル事業

底曳網漁業者が、操業時に引き上げた海底ごみを分別して陸まで持ち帰った場合に協力金を支給することで、海底ごみの持ち帰りや分別の習慣化への効果を検証した。(海底ごみの回収量：約7.5t)

3 その他普及啓発事業等

(1) 岡山エコ事業所認定制度の普及啓発

事業所における排出抑制、グリーン調達等の促進等を図るため、岡山エコ事業所(ゼロエミッション事業所、一般事業所、小売店)認定制度の周知を図るとともに認定を行った。

○認定件数(令和7年3月末時点)

・排出抑制、再利用に取り組む「ゼロエミッション事業所」	50事業所
・再生品を使用する「一般事業所」	28事業所
・再生品等を販売する「小売店」	223事業所

(2) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発

再生品の需要を喚起し、資源の循環的な利用を促進するため、岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行った。

○認定件数(令和7年3月末時点)

350製品

○令和6年度普及啓発実績

- ・イベントへの出展(エコ製品の展示等)
 - 6/2 井原市環境フェア
 - 9/28 コープフェスタ2024
 - 10/13 くらしき環境フェア
- ・テクノサポート岡山展示室での常設展示
- ・県ホームページへの掲載
- ・普及啓発パンフレット「おかやまエコガイド」の作成・配布



< コープフェスタ 2024 >



< 常設展示 >

(3) 岡山県立図書館との連携展示

県民に対し広く普及啓発を行うため、以下のテーマで岡山県立図書館と連携展示等を行った。

ア プラスチック 3 R

- ・期 間：令和6年5月15日（水）～6月16日（日）
- ・場 所：1階 エントランス西口通路
- ・内 容：おかやまプラスチック3R宣言事業所の紹介パネル展



イ 食品ロス削減

- ・期 間：令和6年10月2日（水）～23日（水）
- ・場 所：1階 閲覧室入口
- ・内 容：啓発パネル等を展示するとともに、動画の上映、関連図書を紹介



ウ 海ごみ対策

- ・期 間：令和6年11月20日（水）～12月15日（日）
- ・場 所：2階 閲覧室（自然科学・産業資料部門）
- ・内 容：啓発パネル等を展示するとともに、関連図書を紹介



(4) もったいないフェアの開催

- ・期 間：令和6年10月25日（金）～11月10日（日）
- ・場 所：真庭めぐりガーデン岡山店（岡山市北区津高）
- ・内 容：食品ロス削減及び3Rに関連する県産品の展示・販売



(5) 3R等に関するアンケート調査

海ごみ問題・食品ロス問題など、県民の3R等に関する意識調査を行い、各施策の基礎資料とするためウェブアンケートを実施した。

- ・調査時期：令和7年2月
- ・調査内容：県民の3R、海ごみ問題、食品ロス問題等の関心度や意識等
- ・調査人数：1,300名（岡山県民）

Ⅱ 令和7年度の取組(案)について

1 会議の開催

(1) 本会議

ア 日時	令和7年5月
イ 場所	岡山市内
ウ 出席者	委員、事務局
エ 議題	・令和6年度の取組実績について ・令和7年度の取組(案)について

(2) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

ア 日時	令和7年10月(予定)
イ 場所	岡山市内
ウ 出席者	審査員4名

(3) ワーキング会議

ア 日時	令和8年2月頃
イ 場所	岡山市内
ウ 出席者	委員、事務局
エ 議題	(未定)

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3Rの推進についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を実施しており、令和7年度は次のとおり行う。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

「循環型社会の形成」「もったいない」をテーマに、県民が日常生活の中で実践できることを講演、活動事例発表、パネルディスカッション等を通じて提示するとともに、県の3R関連施策や環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容について展示するブースを設置することなどにより、広く情報の発信・収集・交換を図るイベントとする。

3 県民局ごとに、地域の状況に応じた内容で企画・実施する。

- ・開催時期：令和7年5月～令和8年3月（予定）
- ・会場：3 県民局管内各2 か所程度
- ・参加者：県民、消費者・環境団体、事業所、行政職員 等
- ・プログラム（例）

基調講演、パネルディスカッション

活動事例発表：「もったいない」の取組を実践している団体・学校、企業

展示コーナー：岡山県エコ製品、岡山エコ事業所、プラスチック等の3R、食品ロス削減、海ごみ対策等の県の施策とともに、環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容を展示・紹介、ワークショップの開催等

イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの実施

もったいない精神の普及、3Rに対する意識の高揚、再生品の使用促進を図るため、小学生を対象として家庭で食品ロス削減やプラスチックごみの削減、海ごみ削減を通じた3Rの取組を行うコンテスト及び表彰式を実施する。

・主催等

主催：岡山県

共催：岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議・(公財)岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

- ・対象者：県内に住んでいる小学生とその家族
- ・募集方法：6月中旬頃、県内全小学校に募集案内を送付
- ・応募期限：令和7年9月12日（金）（予定）
- ・取組内容：令和7年8月31日までの1週間、小学生とその家族が、家庭での日常生活を通じて、食品ロス、プラスチックごみ、海ごみ削減に向けた改善策を工夫し実践する。

- ・応募方法：取組結果を報告用紙に記入の上、提出
- ・選考方法：主催者が委嘱する審査員により審査選考会において審査の上、受賞者を決定
- ・表彰式：令和7年12月頃(予定)に岡山市内で行う。

(2) 食品ロス削減の推進

家庭系食品ロス削減に向け、県民の意識を高める啓発事業を強化するとともに、事業系食品ロスについても削減に向けた取組をさらに行っていく必要があることから、次の事業を実施する。

ア 事業系食品ロス削減事業

未利用食品を提供したい食品関連事業者と提供を受けたいフードバンクをつなぐマッチングサービス「おかやまフードトリップ」の周知を図る。

イ 実践を促す！食品ロス削減月間キャンペーン事業

食品ロス削減月間の10月を中心に、食品関連事業者等の多様な主体と連携した県民参加型キャンペーンを実施し、家庭系・事業系双方の食品ロス削減に向けた取組の実践を促す。

ウ 食品ロス削減の輪を広げよう！学校連携事業

食品ロスの問題をテーマに、大学生が小学生に対して探究学習等の支援を行い、問題解決に向けた取組を実践する大学等に対して必要な経費を助成することにより、若い世代の食品ロス削減意識の醸成を図る。

エ 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」との連携

食べきり塾（食品ロス削減の学習会）への参加や全国共同キャンペーンと連携した取組を実施する。

オ その他啓発

Web活用等による広報、食品ロス削減啓発資材の作成等を行う。

(3) プラスチック3Rの推進

海洋プラスチックごみによる環境汚染問題の深刻化、プラスチック資源循環法の施行に伴う資源循環の重要性の一層の高まりを受け、次の事業を実施する。

ア ワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減キャンペーン

使い捨てのプラスチック製品に頼らないライフスタイルへの見直しやプラスチック製品から代替素材の製品への切替えなど、ワンウェイプラスチックの使用削減について啓発するキャンペーンを実施する。

イ おかやまプラスチック3R宣言事業所

プラスチック製品の使用削減や、リユース、代替素材等の製品への切替え、海

ごみ削減のためのごみ拾いなど、プラスチックごみ削減に向けた3Rの取組を宣言する県内事業所を募集し、その取組を県ホームページで公表等を行う。

ウ プラスチック3Rに関する広報

パンフレット等の啓発資材を作成し、県内の環境イベント等で配布するとともに、SNSなど各種媒体を利用して広報を行う。

(4) 海ごみ対策

瀬戸内海のごみは河川等を通じて流れ込んだ生活系のごみが大半であることから、普及啓発による県民の発生抑制への意識づけが必要であるとともに、効果的な回収・処理体制の構築に向けた検討が必要である。また、瀬戸内オーシャンズX等の活動を通じて、瀬戸内海の沿岸県と広域的に連携して海ごみ対策に取り組む。

ア 普及啓発

① 海ごみ・プラスチックごみ削減フォーラムの開催

瀬戸内海のごみ削減に取り組む団体・企業等や、学校、公民館等の取組を紹介するブースを設置し、交流やマッチングの場とすることで、個々の活動や連携の広がりを促す。

② 海ごみ啓発資材の作成、広報

海ごみ対策やマイクロプラスチックの海への影響等を紹介する啓発資材の作成・広告媒体への掲載を行う。

イ 発生抑制対策

① 海ごみ削減キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」

岡山県海ごみ対策推進協議会の構成員を中心に、全県統一のキャッチコピーのもと、県内一丸となった河川等での回収活動等を促進する。

② 海ごみ対策推進協議会の開催

③ 漂着ごみ組成調査

目視調査地点数を増やして、より詳細な実態の把握に努める。

ウ 回収

① 河川ごみ等回収活動支援事業

地域と連携したごみ回収活動を新たに行おうとする公民館に対して、専門家による伴走支援を行うとともに、これまでに支援した公民館における自走体制の構築状況の確認等を行う。

② 河川ごみ等回収促進事業

清掃ボランティア活動が一層活発化するよう、市町村と連携し回収後の河川ごみ等を運搬・処分する。

また、県管理エリアの河川ごみ等の効率的な回収のため、必要に応じて事前に草刈りを実施する。

- ③ 河川ごみ等クリーンアップ事業
市町村が行う河川ごみ等の回収・処理、発生抑制対策事業を補助する。
- ④ 海ごみクリーンアップ事業
市町村が行う海ごみの回収・処理、発生抑制対策事業を補助する。
- ⑤ 海底ごみ回収モデル事業
実施期間の延長や対象漁業者の拡大を行いながら、引き続き、漁業操業時に引き上げたごみの持ち帰りを習慣化する方法と効果の検証を実施する。
- ⑥ 海ごみ削減行動促進支援事業【新規】
瀬戸内オーシャンズX推進協議会が実施する助成事業において採択された事業計画に基づき、民間団体等が行う海ごみ回収活動等について、費用の一部を補助する。

3 その他普及啓発事業等

- (1) 岡山エコ事業所（ゼロエミッション事業所・一般事業所・小売店）認定制度や認定事業所の取組を広く周知することにより、事業所における排出抑制、グリーン調達等の促進を図る。
- (2) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行うことにより、再生品の需要を喚起し、資源の循環的な利用を促進する。
- (3) 3R推進につながる各種取組の情報提供を行う。